

残りをとどめている。ところどころに小さな滝があり、小金
滝と名のついているのもある。八幡町から一本松地内へと流
れ、宮田地内で八島川が流れこんでくる。そのため、水の量
が増して川幅が広がる。日陰橋付近で貝山川を合わせて流
れるため、水の量がさらに多くなる。しかし、この辺りは、
流れがゆるやかで川岸のあちこちに土砂のたい積が見られる。

山田地内に入ると、めおとふじのあるあたりから、川は急
に蛇行しはじめ、川床に大小さまざまな岩石が見られるよう
になる。川は国道 288 号ぞいに磐越東線と交差しながら郡山

方面へと流れ下って行く
が、舞木地内でさらに大
きく蛇行する。その付近
には、竹類やコゴミが生
えている。



桜川の下流

桜川は、土橋地内で郡山市に入り、
やがて阿武隈川にそそいで終わる。



桜川の川床

(3) 八島川

八島川は、要田地区の荒和田地内と笹山地内から流れ出し、
あたりの水田をうるおしながら、途中で御祭川などの水を集